

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育園
事業所名	アスク大津京保育園
代表者氏名（管理者）	園長 田中美智子
法人名	株式会社 日本保育サービス
定員（利用人数）	0歳児6名、1歳児10名、2歳児11名 3歳児11名、4歳児11名、5歳児11名
施設・事業所所在地	520-0024 滋賀県大津市松山町13番7号
T E L	077-526-8580
F A X	077-548-7732
電子メール	Ootsukyo_344@nihonhoiku.co.jp
ホームページアドレス	https://www.nihonhoiku.co.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	2022年（令和4年）11月29日

3 評価の概要

○ 総合評価

アスク大津京保育園は2019年4月、(株)日本保育サービスが運営する保育園として御殿浜保育園、和邇保育園に続く三園目として開園しました。

アスク大津京保育園がある滋賀学区、長等学区は近年住みやすい街、子育てしやすい街として注目が高まり、マンション建設が盛んに行われています。京都、大阪方面からは若年夫婦層が多数転入しています。一方、従来からの三世帯同居といった家庭もあり、新たな街を形成しています。このような地域に開園されたアスク大津京保育園の園長は、長く保育に携わり園長経験も豊富で、御殿浜、和邇の園長も歴任したベテランの園長が就任しています。アスク2園での経験も含めこれまでの全ての経験を生かし、大きな覚悟を持って園運営に携わっています。園では看護師の配置、スマホアプリ「はいチーズ」の導入など安心・安全に対し最大限努力しています。安心・安全が確保されることにより保護者は協力的になる事ができます。園と保護者には信頼関係が生まれ、運動会見学の保護者は1名といったお願いも受け入れてもらえています。

保育園の主役は当然園児ですが、保護者、職員、地域住民も含めた良好な関係性こそが円滑な園運営を行うキーポイントになります。そのことをよく理解している園長は、自ら積極的に保護者と話す機会を持ち、可能な限り園への持ち物を少なくするなど負担を減らし保護者に寄り添っています。職員とは年2回面談を行っています。内外の研修の機会を確保しキャリアアップを図っています。地域に対しては積極的に情報発信を行っています。継続的な努力により開園時には不満を持っていた住民も、開園時の感情とは打って変わり良き理解者となっています。

園では整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、習慣の6Sに取り組み、整理された衛生的な環境を保つことが習慣化されています。また昨今の他園の痛ましい出来事を他人事と考えず、保育士が専門的な事故防止ノウハウを習得し、あいおいニッセイ同和損保(株)より「こどもあんぜんマイスター」の認定を受け、園も「こどもあんぜんマイスター園」の認定を受けています。これにより安全・安心に関する質の向上は更に高まっています。

アスク大津京保育園の園児、職員、保護者、地域の関係性は、これからの保育園運営の在り方を考える上で、多くのヒントが含まれています。

○ 特に評価の高い点

・ 園長の力強いリーダーシップ

園長は保育経験が長く、御殿浜、和邇の園長を務めた経歴もあり、リーダーとしての資質は職員の能力発揮に強く影響を与え、園は協動的でオープンな雰囲気になっています。新卒職員への指導にも配慮があり、長く勤務する職員が多いです。職員一人ひとりに指導が行き届いていることがよくわかります。共有したい理念は明確に伝え、園で働くすべてのスタッフが、明確な目標を共有できるようにサポートしています。保育目標が子ども主体であり、それが園全体に共有されていて、さらに職員が共に発展させていくことができています。

・ 働きやすい職場環境

高水準の保育が求められているという価値観をスタッフが共有しています。スタッフの専門分野を尊重し、様々な提案が歓迎され知識や意見が活用されています。シフトの希望は偏りが無いように工夫されています。普段からコミュニケーションを取ることで健康面にも配慮できています。業務内容の申告をすれば1分単位で残業を申請できるので、サービス残業はありません。研修では自分の受けた研修を申請し、勤務時間内に受講できる仕組みがあり、スキルアップのための自己研鑽が可能です。

・ 多彩な保育内容

個々の子ども、家庭のニーズ合わせた柔軟な保育サービスを提供しています。学研の「もじかざランド」や英語のオンライン授業を取り入れるなど、就学にスムーズに移行できるシステムがあります。また警察と連携して安全なお散歩マップを作成し、近くの近江神宮へ散歩に行き自然と触れ合える保育が行われています。園内では、はだし保育を取り入れています。冬場でも裸足で走り回り、裸足での活動が健康、体力づくり、身体作り、五感の発達を促しています。

・ 地域との良好な関係

保育園は地域社会の中で家族が健やかに生活していくために大きな役割を果たしており、保育士は普段の保育実務を通して、地域社会に貢献している職業と言えます。大津京保育園は園に通う子どもたちのためだけでなく、地域の人たちのために有益な情報交換や相談の窓口としての役割も担っています。子どもを持つ親や、これから子供が生まれる家庭、保育に興味を持つ学生、お年寄りなど地域社会の様々な人たちが保育園という場を通して関わっています。保護者や地域の人々と園の歩み寄りをととても大切にし、あいさつで始まりあいさつで終わる気持ちのよい関係が築けています。

○ 改善を求められる点

・ 園の自己評価への取り組み方

園の自己評価を行う方法としては、県が定める「自己評価実施ガイドライン」や厚生労働省が示す「保育所における自己評価ガイドライン」があります。厚労省のガイドラインでは実施する際の具体的な進め方の例として、①保育士等の個々の振り返りを最大限に生かす方法、②日誌やビデオ等の記録をもとに多様な視点から振り返る方法、③評価項目を利用して振り返る方法の3つが示されています。これらの例は、いずれも保育士が個々に振り返りを行った内容を組織全体として共有し、園が大切にしている価値や課題をより明確化していく過程を重視したものです。

園の実情に合った方法を選択、または組み合わせることも可能です。どの方法で行う場合でも主任保育士、全体リーダーが加わり、可能な限り職員全体が無理なく継続的に取り組めるよう、工夫して実施することが大切です。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

当園の取り組みの自己評価に対して、様々な状況を分析し園としての改善に努め保育運営をしてきました。調査が始まり、調査員さんの丁寧で厚意的なご発言等に励まされ、安心して評価を受けることができました。誠にありがとうございました。

たくさんの評価項目毎に調査をすすめていく中で、保育園としてあるべき姿、現状の不十分な状況を再確認し、改善すべき点などの気づきに役立ちました。しかし、設問の着眼点について「ここここは、このような観点から評価できます」など、思いのほか高い評価をして頂くことが多く、実際の保育場面での子どもたちの様子や現場の保育士の声にも、真摯に耳を傾け温かいまなざしで見守って頂き、現場の保育士も日々の保育の自信に繋がったと思います。子どもたちの健やかな成長をどう見守っていくか、環境整備はいかにあるべきか、主体性を育むため、保育士はどのような姿勢で子どもたちと向かい合う事が望ましいか、地域密着の保育園とはどのような連携を目指せば良いか、地域に根付く園運営に取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様にもお忙しい中、アンケートへのご協力を頂きました。保護者と保育園がより友好的なコミュニケーションを確立して、未来を担う子どもたちが安心してのびのび育つ為の、協働関係の強化に努めていきたいと考えます。この度は様々なご教示をいただき、有意義な機会を得られましたことに、感謝いたします。ありがとうございました。

5 評価項目毎の評価結果

(別 添)